



自民党
www.jimin.jp

□発行人:自由民主党群馬県連広報委員会
群馬県連緊急対策本部
電話 027-223-1515
FAX 027-221-4721
被災地への支援物資・ボランティアのご相談は、
お近くの議員事務所へ

自由民主党群馬県議団災害対策レポート

ガンバロー日本

2011 3/11
この危機を乗り越える道

3月11日に発生した未曾有の災害によって被災された方々へ、心よりのお見舞いを申し上げます。その後の混乱の中で、県民の皆さまには不安をお持ちのことでしょう。しかし私たちは、災害と直面し、助け合いながら、自分の役割を懸命に果たすことで、この災害を乗り越えていかねばなりません。

日本中から集まった救急車や消防の作業車が東北道へ向かって走っていく様子に、日本が一つになつたと感じます。そして世界から日本へ応援の声が届きます。自分の命を賭けて役割を懸命に果たす職業人がいます。地方政治の現場にいる私たちが出来ることは、人の善意を応援することだけです。そして暮らした現場の声を権力へ届けるために叫ぶことです。

今回の県議団レポートを通じて、大災害直後から自民党県議団が何をしてきたかをお伝えできれば幸いです。

さて、今回の未曾有の危機を乗り越える一歩は「支え合う事」です。国民も政党も支え合う。力を出し合つてこの難局に立ち向かう事です。私たちは、政党の利益より国家を優先します。

自民党は、今まで培ってきた災害対策の知識を発揮する役割を担つてまいります。

ともかく、政党のためではなく、国家のために何をすべきかを問ひなおす事です。

復興には巨額な資金が必要です。痛みを分かち合うべきです。国会や政府も同様です。県議会も同様です。選挙より災害による混乱を乗り越えることを優先しましょう。

自民党県議団は新人まで含め、選挙でのスピーカーを付けた車からの名前の連呼と午後6時以降の車両運行の自粛を決定いたしました。それぞれその責任を果たすこと。それを考え生きる、日本再生の一歩を踏み出しましょう。

大災害直後から自民党県議団がしてきたこと

2011 3/14
自民党群馬県議団は知事へ災害対策要望を手渡しました

申し入れ内容

- 被災者への公営住宅の提供・仮設住宅用地提供・県内宿泊施設への受け入れ提供など積極的に行う事、また県内市町村の被災者受け入れを支援する事
- 被害家屋修理助成を早急に行う事
- 県民保護の観点から東北に出ている県民の安全確認に対応する事
- 病院・農業用施設、工場等への電源対応をする事
- 橋や道路の復旧や通学路の一点検をする事
- 放射線レベルの増加に対応する臨時休校など教育委員会の迅速な対応や県民への広報準備を検討する事
- 早退した後の交通困難生徒への支援や学校避難所の備品準備などを検討する事
- ガソリンや燃料、食料品の流通確保に努める事
- 停電による農林、製造業の稼働制限が経済、生活を停滞させている。早期対策のため、計画停電ではなく節電対策として実施する事
- 被災県の市町村と県内市町村の支援のマッチングを行う事
- 市町村間で格差のある被災者受け入れ態勢の底上げを行う事
- 観光業の経営は深刻な局面にある、支援対策として金融政策を早急に対応する事、及び、被災者受け入れを進める事
- 県内経済への影響は危機的であり、復興までの間の直接貸付など金融支援を検討する事
- JR運休に伴う、代替輸送の確保に努める事
- 農産物に対する風評被害を防ぐために、早急に検討を進め、安全宣言を打ち出す事
- 県民不安を増長する報道に対しては冷静な対応を要請の事



2011 3/15
群馬県における放射能濃度の計測値を公表することに

2011 3/18
相馬市へ皆様からの預かり物を議員団で届けました

自民党群馬県連災害対策本部で相馬市へ救援物資を届けました。大人用、子供用おしめ、ミルク、毛布、空の燃料用ポリタンクなど、お寄せいただければ私たちがお届けします。なお、被災地の生活インフラが回復するまで、自民党群馬県連の青年部を中心に救援物資配達を行いたいと考えております。



【第一回物資運搬の概要】
○届け先／相馬市役所
○物資／お米3t（JA邑楽館林「あさひの夢」、飲料水2t（館林市より提供）、その他（寄せられた善意の品）

2011 3/25~29
福島市・田村市へ群馬の温泉を届けました

温泉配達を温泉地選出の議員へお願いして、地域の旅館組合や観光協会と協力して行いました。
【日程】3/25草津3/26四万3/27水上3/28伊香保3/29磯部温泉で行い、各地の自民党県議が先頭にあつてお湯を被災者の方へ届けました。11t専用口ーリーからほとぼる湯の柱に子供たちが大喜びでした。現地へ派遣活動中の自衛隊12旅団のお力を借りました。感謝。

2011 3/23
自民党の遊説車運行の自粛を議員団で決定!

- 運行時間に制限を設ける。運行は午前8時より午後6時、流し遊説は午前9時より午後5時までとする。
- 計画停電中は該当地区にて流し遊説を行わない。
- 4月4日(月)は、一斉自粛日とし、全候補者は遊説を行わない。

トピックス

**震災被災者受け入れセンター
0270-26-9211が開設**

被災者の方、避難された方へ、県内の公営住宅・旅館などを提供しましょう。このセンターに電話すれば、群馬で安心して暮らしてもらえ、そんなお手伝いを一元的に紹介出来る仕組みは、多くの皆さんにとって役立つに違いありません。

県議会は議員年金を廃止します。

「年金の一元化は難しそう」と総理大臣が発言との報道。しかし年金一元化は民主党の公約でした。実は県議会の議員年金は廃止です。私たちは廃止を訴えてきました。他の年金との二重加入や12年で受給資格が貰え、自分の掛け金8万円/月に加えて6万円の都道府県負担があります。議員という特権の一つだと考えてきました。廃止は当然ですが、全ての年金を例外なく見直すとの条件付きです。国民年金も安い人は月5万円程度。こんな社会保障では「おちおち年もとれない」との気持ちになるのは当然です。

障がい者支援議員連盟が成果!

自民党障がい者支援議員連盟は、知的障がい、精神障がい者の自立を支援するために行動する議員の集まりです。

①グループホームをより一層利用しやすくするために、群馬県の県営住宅運用基準の緩和を実現しました。どの県営住宅でも障がいを持っている方々が、優先的に利用できるようになりまし。これは全国的に見ても画期的との関係者の評価です。

②第二種社会福祉事業の自動車税の減免は精神障がい者施設も23年度より対象になります。

衆議院群馬県第2区 第3区支部長結果発表
第2区支部長 井野俊郎氏
第3区支部長 清水聖義氏

公募決定!